

万博公園探鳥会

2025 年 12 月 13 日(土)

リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美
玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

I 万博公園の鳥第6回「ノゴマ」

漢字名 野駒 学名 *Luscinia calliope*



ノゴマ 20251108(橋本昌宗氏)

英名 Siberian Rubythroat

渡り鳥なので 12 月はいませんが、11 月万博公園探鳥会で初めて観察したノゴマを紹介する。ノゴマは北海道に繁殖している夏鳥、大阪近郊では春秋の渡り季節に通過する旅鳥で、特に秋によく観察されている。万博公園探鳥会では、これまで 40 年間で一度も観察していなかったが、先月 11/8 の探鳥会では先頭を歩いていた参加者のほぼ半数の方が、日本庭園でノゴマを観察された。探鳥会終了後に橋本昌宗氏がノゴマのいた現地に帰り、上記写真を残してくださった。

探鳥会では万博公園初記録であったが、園内で鳥を良く見ておられる有賀憲介氏が 2018 年 10 月、橋本寿紀氏も 2018 年 10 月(有賀氏と同一日、同一個体)、2019 年 10 月、20 年 10 月と、両氏あわせて 3 年連続で 3 回、トータル 3 個体を確認されていることがわかった。

ノゴマの名前の由来はいくつかあるようですが、平地や草地などの「野」に生息し、コマドリと似た美しい囀りを持つことから「野に住むコマドリ」という意味で名付けられたという説がある。

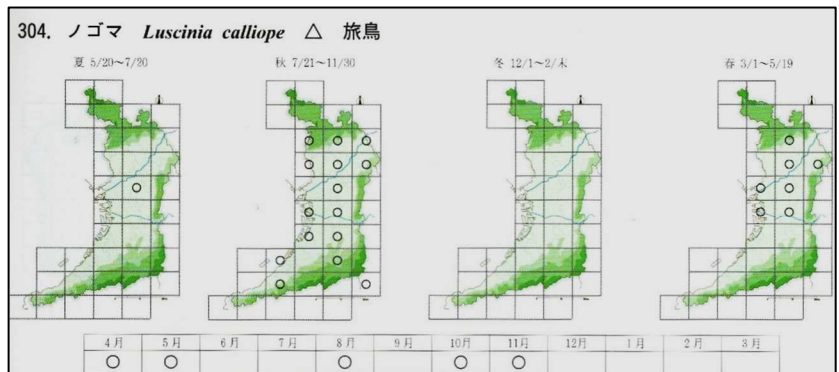
ノゴマ 成鳥には写真で見られるように喉の中央部に鮮やかでくっきりとした赤色の斑点があり、これが日本の国旗のように見えることから、「日の丸」との愛称で呼ばれることがある。

日本野鳥の会発行の図鑑「フィールドガイド日本の野鳥」の著者である高野伸二氏(1984 年 58 歳で逝去)は、『小学生のころ鳥の雑誌で「十月の朝庭に咲き残ったコスモスの赤い花びらをくわえたような 1 羽の小鳥に出会った」という文を読んで、ノゴマが私のあこがれになった』と書かれています。(高野伸二「野鳥と共に」朝日文庫 1989)。

平は「ノゴマの囀り」を聞いていないため、名前の由来となっている「野に住むコマドリ」が体験していない。ノゴマの囀りをお聞きしたい方、繁殖期の北海道へ出かけられてはいかがでしょうか。

I ②大阪府のノゴマ (大阪府鳥類目録 2016)

大阪府では春の渡り・秋の渡り時期に、鶴見緑地・大阪城公園・大泉緑地などの都市公園や、淀川などの河川敷で観察記録があり、特に秋の渡り時に観察されている。時には民家の庭で観察されたこともある。



I ③ 全国鳥類繁殖分布調査(鳥類繁殖分布調査会 2021)

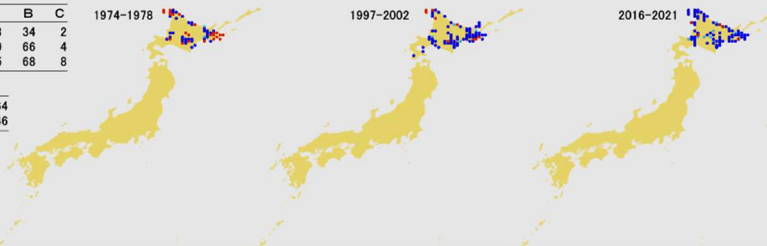
ノゴマ 分類:スズメ目ヒタキ科 Siberian Rubythroat *Luscinia calliope*
 全長:14.2-16.2cm 翼長:75-80mm ふち長:28-33mm 体重:15-23g
 環境省レッドリスト: —

各年代の分布状況の変化

メッシュ数	A	B	C
1974-1978	23	34	2
1997-2002	9	66	4
2016-2021	5	68	8

調査地数

1997-2002	64
2016-2021	46



北海道に夏鳥として分布する。海岸や河川敷、農耕地などの低木が混じる開けた環境から高山のハイマツ帯まで幅広い環境に生息する。3期をとおして、記録メッシュ数に大きな変化は見られていない。

I ④世界の繁殖越冬分図 真木広造・大西敏一 → 日本の鳥 590 平凡社(2000年)

繁殖地は北海道以北、サハリン・カムチャッカ、中国東北部～ロシア亜寒帯。越冬地はフィリピン、インドシナ半島など



II 先月 2025 年 11 月探鳥会

冬鳥の渡来はカモのヒドリガモ、小鳥ではツグミ・ジョウビタキ・アトリで、まだ少なかった。留鳥では資料に今月の鳥としたカワセミ、何回も姿を見せ参加者を楽しませてくれた。今日の特記は秋の渡り鳥、世界の森で上空を飛ぶノスリ(7羽)の飛翔、また終了直前の日本庭園東側でノゴマ、万博公園 40 年間で初記録の鳥が出た。探鳥会では参加者の一部の方しか観察できなかったが、上記の通り橋本昌宗氏が写真で残してもらうことができた。観察種数は 29 種にとどまったが、好天に恵まれ鳥たちが良い顔をしてくれたこともあって、35 名と多かった参加者に気持ち良くお帰りいただくことができた。

写真 橋本昌宗氏 (20251108)



カワラヒワ



ツグミ



ノスリ



カワセミ



ヒドリガモ



シジュウカラ

III 次回 1 月 10 日(土)万博公園

冬鳥がそろって待っている季節。今日と同じように、大阪支部 HP のホームズ様式からお申込みください。申し込み様式が厳しい方は、平宛,0501,hi@gmail.com で。

IV「僕には鳥の言葉がわかる」鈴木俊貴(東京大学先端科学技術研究センター准教授)

シジュウカラの言葉の研究者として何度もお聞きしていた鈴木俊貴博士が、一般向けの番組テレビ朝日系列の「徹子の部屋」に10/17 出演された。

これまで研究から、鳥の鳴き声は言葉であったことを発見し、言葉を組み合わせた文章を作っていることを知り、人間以外の動物は言葉を持たないとされていた常識を一変させることになった。

2023 年には鳥類だけでなく、哺乳動物など様々な動物の言語を探索する

「動物言語学」

という新たな学問分野を立ち上げられた。

その後 12/7 には、TBS 系列の番組「情熱大陸」にも出演されている。



↑ 徹子の部屋の画面集

鈴木俊貴博士への質問 (WIRED Innovation Award2025 受賞者インタビュー: Edited by Daisuke Takimoto)
インターネットにあった報告内容・・・「徹子の部屋」での説明内容に類似)

- ・鳥研究は大学生の頃から軽井沢が定点にしており、今も(半年～10 か月)/年滞在する。
- ・同じ場所であれば、天敵動物(ハシブトガラス・アオダショウ・モズ・オオタカなど)が同じなので、繰り返し観察することで、シジュウカラ語を研究することができた。しかも発見したシジュウカラの言語や文章が正しいかどうか、証明する方法も発明する必要があった。
- ・2008 年「ジャージャー」の声から、「蛇への警戒音」との結論まで 10 年かかっている。
- ・巣箱に餌を運んできた雄・雌が鉢合わせると、雌が翼をパタパタさせることで、雄が先に巣箱に入る。言葉だけでなく、ジェスチャーもすることがわかった。
- ・人間以外には「チンパンジーなど高等動物しかジェスチャーをしない」、という定説を覆した。
- ・子供の頃、小さい虫など生き物が好きだったことから、両親は家族全員で茨城に引っ越した。父はそのため東京丸の内まで、2 時間半かけて通勤してくれた。
- ・カブトムシがコガネグモの巣に引っかかって、食べられるのを見たことがあった。図鑑に「カブトムシは最強だから、どんな虫にも負けない」とあり母親に言ったら、「図鑑に『コガネグモには負ける』と書き加えたら」と言われた。それからは気づいたことを図鑑に書き加えることにした。
- ・「野鳥観察」を趣味にされる人が多いのは、哺乳類よりも鳥類が観察しやすいためである。哺乳類は夜行性で自然環境での観察が難しいことが多いし、昆虫は昼行性で種類も多く捕まえやすいが、捕まえたならあまり観察せず、コレクターが標本とすることが多いと思われる。
- ・鳥は鳥獣保護法で捕獲が禁止されていて見ることしかできないので、観察する楽しみがある。
- ・鳥と人間には多くの共通点がある。目と耳で世界を認識しており、声でコミュニケーションをとっている。シジュウカラも一夫一妻で、2 本の足で立ち、ジェスチャーもします。
- ・最初に「動物言語学」という新しい学問を提唱したのは 2022 年夏、ストックホルムの国際学会家でした。講演の最初に「動物は言葉を持たないと思われるかもしれないが、違うんです」といったら、「いったい何を・・・」と微妙な空気が流れました。ところがアイディアの証明や研究の手法を紹介すると、講演後には壇上に研究者の列ができ、「あなたは人間と動物を二分した西洋の考えを覆した」と賞賛してくれた。

詳細は著書「僕には鳥の言葉がわかる」小学館発行 2025 年 1 月 28 日初版(10 月 14 刷)参照

V 万博公園探鳥会 観察種チェックリスト (第8版ベース)

万博 NO	第8 版	種名	2024				2025				第8 版
			9 14	10 12	11 9	12 14	9 13	10 11	11 8	12 13	
1	21	オシドリ									21
2	23	トモエガモ									23
3	27	オナボシガモ				27					27
4	28	ヨシガモ									28
5	29	ヒドリガモ							5		29
6	32	カルガモ	8	4	4	28	6	13	12		32
7	33	マガモ									33
8	34	オナガガモ									34
9	35	コガモ									35
10	39	ホシハジロ									39
11	43	キンクロハジロ				1					43
12	56	ミコアイサ									56
13	69	アマツバメ									69
14	82	ツツドリ									82
15	89	キジバト	5	3	3	6	3	5			89
16	93	アオバト									93
17	96	クイナ									96
18	100	バン					1				100
19	101	オオバン			1	5					101
20	117	カイツブリ	4	6	8	3	11	8	9		117
21	119	カンムリカイツブリ									119
22	128	ケリ									128
23	134	イカルチドリ									134
24	135	コチドリ									135
25	163	トウネン	3								163
26	183	タシギ									183
27	188	イソシギ									188
28	213	ユリカモメ									213
29	315	カワウ	3	2	1		3	3	3		315
30	328	ゴイサギ									328
31	333	アオサギ	2	1	1	1		1	1		333
32	335	ダイサギ					1				335
33	337	コサギ									337
34	343	ミサゴ				1					343
35	344	ハチクマ									344
36	352	ツミ									352
37	353	ハイタカ				3			1		353
38	354	オオタカ									354
39	359	トビ		2		1		1	1		359
40	363	サシバ									363
41	366	ノスリ		7		1			6		366
42	384	カワセミ	2	1	4	6	1	1	5		384
43	389	アリスイ									389
44	390	コゲラ	3	6	3	4	6	5	5		390
45	402	チョウゲンボウ		1			1	1			402
46	407	ハヤブサ									407
47	411	サンショウクイ									411
48	412	リュウキュウサンショウクイ									412
49	419	サンコウチョウ									419
50	425	モズ		6	3	1		7	3		425
51	435	ハシボソガラス	39	2	9	21	23	12	19		435
52	436	ハシブトガラス	41	34	57	54	18	42	69		436
53	439	ヒレンジャク									439
54	442	ヤマガラ	14	2	8	3	5	5	4		442
55	447	シジュウカラ	29	6	12	14	13	13	13		447
56	456	ヒヨドリ	28	59	87	98	9	33	38		456
57	461	ツバメ	3	3			3				461
58	462	イワツバメ									462
59	463	コシアカツバメ					4				463
60	464	ウグイス	1		3	3		1	3		464
61	466	ヤブサメ									466
62	467	エナガ		15	18	11	15	25	7		467
63	476	センダイムシクイ		1							476
64	479	エゾムシクイ									479
65	481	メボソムシクイ									481
66	482	オオムシクイ		2							482
67	484	オオヨシキリ									484
68	501	メジロ	22	45	16	8	18	6	5		501
69	507	ムクドリ	68	1		14	285	43			507
70	509	コムクドリ									509
71	514	トラツグミ									514
72	526	シロハラ			2	3					526
73	527	アカハラ			1						527
74	531	ツグミ				25			13		531
75	532	ハチジョウツグミ									532
76	533	エゾビタキ		10							533
77	537	コサメビタキ	11	2			4	3			537
78	539	オオルリ		1							539
79	545	コマドリ									545
80	550	キビタキ	2								550
81	556	ルリビタキ									556
82	561	ジョウビタキ			11	8			6		561
83	564	イソヒヨドリ	1	1		2	3				564
84	568	ノビタキ		4							568
85	574	ニューナイスズメ									574
86	575	スズメ	77	28	57	28	118	34	17		575
87	584	キセキレイ	1	2	1		1	2			584
88	585	ハウセキレイ	20	22	17	21	31	37	17		585
89	586	セグロセキレイ	2	1	1	1	2	1	1		586
90	591	ビンズイ									591
91	595	タヒバリ									595
92	597	アトリ				5			2		597
93	598	シメ									598
94	600	イカル			4			4	2		600
95	608	カワラヒワ	4	2	1	19	99	6	15		608
96	618	ホオジロ									618
97	625	カシラダカ									625
98	633	アオジ			3	2					633
99	11	ドバト	○	○	○	○	○	○	○		11
100	25	ソウシチョウ				1					25
		カッコウSP									
		ムシクイSP					1	1			
		タカSP									
101	23	ハシビロガモ						1			23
102	543	ノゴマ							1		543
種類数(種)			26	33	28	35	28	29	29		
個体数(羽)			393	287	336	429	685	314	283		
天候			晴	晴	晴	曇	晴	曇	晴		
参加者数(人)			18	27	33	27	18	26	35		